

講演日	曜日	時間	時間数 (分)	会場名	テーマ	講演概要	会社名/団体名	所属役職	講師
10/31	(木)	12:45 ~ 13:45	60	中会議室201 (2F)	GMP省令改正と最近のGMPIに関する話題	現行のGMP省令が2005年に施行された以降、ICHではQ9,Q10の調和、GMP施行通知の改訂、PIC/S加盟等の国際化が進む一方、データの信頼性欠如や承認書との不整合問題も経験してきた。このような背景のもと、昨年、厚生労働科学研究班ではGMP省令の改正案を厚労省に提案した。本講演では改正案のほか、GMP査察での指導事例等の話題について解説する。	(独)医薬品医療機器総合機構	審議役 (品質管理担当)	櫻井 信豪
10/31	(木)	14:00 ~ 15:40	50	中会議室104 (1F)	ICTを利用した効率的な服薬管理について -包装資材を通しての情報提供-	高齢者に多い生活習慣病は自覚症状が少ないので、薬を飲み続けることが難しく症状が悪化し健康寿命が短くなるケースがある。服薬を継続させる為に様々な方法があるが、一つの試みとして、ICT (Information and Communication Technology) を利用して服薬継続の動機付けに有効な情報を患者が手にする包装資材から提供し、それが患者行動にどのように働くか検討している。自発的な服薬を継続させることが、医療の効率化に貢献出来るか提言する。	田辺三菱製薬(株)	サプライチェーン本部 SCM推進部 製剤渉外グループ	近藤 育
10/31	(木)	14:00 ~ 15:40	50	中会議室104 (1F)	服用中の薬 何を知って飲むべき	薬を使用するとき、名前と用法・用量を知るだけで良いわけではありません。目が乾くので眼科に。でもドライアイは服用中の薬の副作用の可能も。医療用薬と併用しない方がよい、サプリメントや市販薬もあります。そこでお薬手帳を介して薬剤師とどんな会話をさせていただきたいか、実例をあげながら薬との付き合い方を紹介します。	医薬情報研究所(株)エス・アイ・シー	薬剤師	堀 美智子
10/31	(木)	14:00 ~ 15:40	50	中会議室105 (1F)	GS1コードに係る印字/印刷・検査/検証・照合について	GS1コードを印字/印刷する場合、ライン能力及び印字/印刷品質と印字/印刷内容などにより対応出来る印字/印刷機の機種選定が重要となる。また検査/検証においてはインライン検証機能があり、LVSなどの卓上型検証機とインライン型検証機の検証結果の相関関係を取るためのインライン検証機の設定と照明の設定が重要となる。今回はGS1コードの詳細、印字/印刷機の選定、インライン型検証機の設定と照明の設定及びシリライゼーションに対応するCIMシステム (Computer Integrated Manufacturing) に関し説明する。	(株)イーズ	代表取締役	平澤 寛
10/31	(木)	14:00 ~ 15:40	50	中会議室105 (1F)	GS1データベースの医療機関での利用について -保険薬局での利用を中心に-	医療用医薬品のすべての包装にGS1標準のバーコード (GS1-128シンボル、GS1データバー) が表示されるようになり、医療機関は、これらのバーコードを利用して医薬品の取り間違い防止やトレーサビリティ、受発注の効率化などを進めている。保険薬局を対象に行われたアンケート調査を中心に、医療機関におけるGS1データベースの利活用の現状と今後の展望について述べる。	(一財)流通システム開発センター	ソリューション第1部 ヘルスケア業界グループ グループ長	植村 康一
10/31	(木)	15:55 ~ 16:45	50	中会議室104 (1F)	医薬品包装の適正品質を考える	我が国の医薬品包装の品質が海外に比較して著しく高いことは周知のとおりである。特に外観品質に対する要望が高いことが特徴的である。生産量の最も多いPTPを例にすると、異物・色調・ポケット形状・カール・印刷などに対して苛酷とも思えるような要求がなされ、結果的に材料価格高騰・廃棄材料増大・国際競争力低下などというような問題が発生している。海外からは、“日本品質”と揶揄されている。厳しい薬価引き下げが行われている状況下では、過剰な品質を排して適正な品質を指向することが求められる。本公演では、PTPを例にして、適正品質を論じる。	創包工学研究会	会長	三浦 秀雄
10/31	(木)	15:55 ~ 16:45	50	中会議室105 (1F)	インクジェット式錠剤印刷装置の技術進化と今後について	調剤過誤防止や調剤業務の効率化の観点から錠剤の識別性の向上が求められており、錠剤自体に識別コード等の情報を直接印刷する技術が広く使われるようになった。本講演ではインクジェット式錠剤印刷機技術の技術進化と今後の展望についてご紹介させていただきます。	(株)パウレック	営業本部 本社営業部 本社営業グループ アシスタントマネージャー	有本 哲也